

市民からの意見

- 傍聴に行けずとも議論の経過や内容をタイムリーに知ることができるため、重宝しています。ありがとうございます。また、ライブで視れなくても時間がある時にチェックできるのが一市民として嬉しいです。ありがとうございます。マイクを切る・切らない関わらずに声を拾えるようにしてほしい。このアンケートの結果を集計して公開してほしい。もっと周知に力を入れて欲しい。「休憩中」の文字をもう少し遠慮がちに書いてはいかがでしょうか
- 傍聴ができない多くの市民にとって、貴重な情報源ですので、今後とも続けて欲しいと思います。また後から視聴することも可能なので、平日昼間に時間がない市民にも大変ありがたいです。今後の改善点としては、話者のマイクのみならず会場の音を拾えるようにしてほしいです。野見山議長もブログで紹介の通り、今のユーストリームでは議場の白熱した議論を拾い切れないので、この点についても是非お願いしたいと思います。
- 他の自治体でも非常に参考になる先進事例です。議会改革の火を消さないためにも、是非とも継続実施していただきたいです。また、現状を鑑みるにいかなる理由をつけようとも実施しなければ『議会改革の意思なし』という烙印を押されるのは必至です。最先進自治体である流山市議会を見習い、それ以上の自治体になっていただきたく思います。自身のふるさとである小金井が全国に誇れる自治体になる日を心待ちにしております。
- 議会での議論が市民に伝わりにくい現状において、インターネットで配信していただいていることは非常に意義深いことだと感謝しております。今後とも是非継続してインターネット配信を続けていただくこと、切にお願いいたします。現在配信していない会派代表者会議や全議員懇談会についても、インターネット配信の対象に含めて頂くことを希望しております。単にインターネットで配信することどまらず、市役所等、人が集まる場所で上映すると、市民の議会に対する理解が深まって更に良いと思います。音声聞き取りにくいケース（音量が小さい、ノイズが入る等）があるので、安定した送信ができるようにしてほしいです。
- 休憩時間も含め、全ての様子を映像・音声にて配信する事を望みます。（開かれた市議会を望みます）

○ 全国の市区町村の中では、非常に進んでいます。まだまだ議会を完全に開示出来ていない市区町村の中であって、非常に先進的です。またインターネット配信を始めたのは市民と聞いております。それを潔く市が引き継いだことにも敬意を表します。これからの政治は、インターネット技術を駆使し「安く、タイムリーに、余すところなく」有権者に伝えなくてはなりません。安くは、文字通り有権者の税金を行使するわけですから安く・確実な手法は好む所です。タイムリーは、もちろん適時にです。小金井市民の方々が関心を示した時に始めたのでは遅いと思います。経常的にユーストリーム配信を行うことが必要と感じています（莫大なコストでは無いのが明白です）。余すところなくは、自分たちの選んだ代表が、どのような姿勢で、どのような対応で、議会に参しているかを見るためです。国会中継にもあるように、卑劣なヤジを行ったり、不用意に議会運営を遅延させていないかを市民に知らせるための道具になります。ありきたりですが正に開かれた議会といえます。今までの「関心があって、議会に来た人は傍聴してもいいです」という姿勢や、後日「見に来た人だけ議事録を開示します」では済まないと考えます。小金井市のように、先進的な手法を用いて議会を運営している市区町村は少ない中、パイオニアと言われるように継続にご努力いただいたいと考えます。また市長の近隣都市との会合で、ご紹介していただければ小金井市の取組が社会的に認知され、また追随する議会も出てくると確信しております。

○ ぜひ、継続を希望します。

○ 議会傍聴ができなくとも、議会での質疑が分かり、議員と市の対応が理解できてよい。

○ 普段仕事をしていて公聴会などに参加できないため、昼休みや移動時間にチェックできるこのようなシステムはありがたい。また、移動が困難な方々（小さい子を抱える主婦や、体力的に移動が楽でない方）でも、傍聴しやすい。

○ 市議会の傍聴に足を運ぶのはなかなかできないものだが、興味のある案件を自宅でみることができるのはとてもありがたいです。実際にいくつか Ustream 配信で議会を観ましたが、非常によかったです。議会がどのように行われているのか、市民がいつでも気軽にみられるというのはとても画期的ですし、実際の議員さんの意見を聞けるというのは選挙の参考になりますし、今後もぜひ続けていただきたいです。

○ 市民が市議会を知る上で画期的な情報源です。ぜひ本格運用してください。

○ 市民が自分のまちの議会をよく理解するためにも必要なことだと思います。

○ 小金井市議会は昨2011年12月議会より公式のユーストリーム中継の試行を続けられてきました。中継に関しては都内では何らかの議会中継を行っている市区町村が半数近く占めるなか、若干遅れていた感もあった小金井市ですが、本会議のみではなく委員会も網羅していると言う点でより透明性のある議会として一歩先に進んだものとして評価されるべきものと思います。この中継の意義は、市政の意志決定機関としての議会の透明性を担保して、市民に審議結果の納得感をもたらす、重要課題を含む市政の各種課題を先に進めるためにはなくてはならないものの一つとして認識しています。ですので今回アンケートをとられていますが、市民への浸透が不足していて、視聴率が上がらないからやめるといった類のものではないのではない事をまず初めに確認しておきたいと思います。その上でいくつかの問題の指摘と改善の提案をしたいと思います。

この中継は元は傍聴席からの市民による中継を市議会が公式なものとして引き継ぐ形で始まったものです。当初の市民による中継ではマイク音声のカットなどありませんでしたし、傍聴席のどよめきや、議員席の公式な発言以外の野次、心ない不規則発言などもマイクが拾っていました。なので、傍聴席で聞く事の出来る全てが中継によって流れ、ネット上に記録されていました。この当時は休憩中の傍聴席音声まで拾ってしまうと言う問題が指摘されてはいましたが、現在の公式中継とは比べられないほどの透明性が確保されていたと言えます。

現状はどうでしょうか。公式中継になってから、議場の発言用マイクからの音声だけになり、傍聴席にいれば感じられるライブ感は失われました。これはある程度は仕方のない事かもしれませんが、非常に問題だと思われるのは例えば議会基本条例を扱っている議会運営委員会での出来事です。しばしばマイクを切って話し合いを行ってしまい、本来傍聴席にいれば分かる事まで、ネットからの視聴では分からない状況にしてしまっている事です。また、議会基本条例においては全会一致が条件で、全議員協議会が非常に重要であるにもかかわらず、その場ではなく議事録に残らない、中継も行われぬ全議員懇談会という場で話し合いが行われるようなところ。これでは、ユーストリーム中継を以前視聴していた人々も段々と離れていく結果となったとしても致し方ないと思われます。文章の議事録文化が長かったのだからこうした事を行っても、問題を感じなくなっていると推測しますが、それでは傍聴席に人がいなければ、議事録に残らないようにすれば何をやっても構わないのだ、と思われていると言うことではないでしょうか。情報の公開は都合のよいところだけの切り貼りをしてはならないのです。これは中継を行うもののリテラシーだと思います。議会基本条例を策定中ですらこのような秘密主義、不透明感を市民に与えてしまっては全く何のための条例策定なのか分かりません。

修正すべき点は、ともかく、傍聴席にいれば分かることは全て流す、ということかだと思います。ユーストリーム中継は、遠隔地でも視

聴できる、録画は中継後すぐに視聴できるのがメリットとなっています。このメリットを生かし、市民の誰かがライブまたは録画の中継をみて、ツイッター等で文字起こしして情報のシェアを行うことが出来ます。視聴者数が少ないからと言って効果は判断できないのです。もちろん誰も視聴者がいないからやめると言うのも情報公開の趣旨からすると本末転倒になります。

そしてここからはユーストリーム中継の更なる活用についてですが、市役所のロビーに大型ディスプレイを配置して議会開催中は全ての中継をそこで流したらどうかと思います。これは実は議会基本条例を最初に策定した栗山町が実施した事ですが、議会では何を話し合っているのかを、自宅でPCを使わない市民の方々にも見てもらうことが出来ます。より多くの人に市政の問題を自分たちの問題として共有してもらい、そして議決内容に納得してもらう為には非常に有効な方法だと思われれます。

○ カメラの位置を逆にしたいです。市の誰が発言しているか分かりにくいし、傍聴席を映しても意味がないのではないのでしょうか。ただこういった取組は大変評価できると思います。小さな子どもがいると行くこと自体が大変ですし、子どもを連れて行ったら子どもがうるさくしてしまい迷惑になるので、傍聴に行くのを躊躇してしまうので。過去のものを見れるのも良いと思います。

○ 一般市民にとって市役所での議会傍聴というのはなかなか敷居が高いことだと思いますが、ユーストリーム中継は議会傍聴の敷居を下げる上で大きな役割を果たしていると思います。市議会や市役所にも情報公開が求められる時代には不可欠なものではないのでしょうか。今後もぜひ続けていただきたいと思います。現在、時折音声が乱れて聞き取りづらいことがあります。今後はこういった問題も解決していただければ幸いです。また、まだまだ市議会のユーストリーム中継をご存じない方も多いかと思いますので、市議会あるいは議会事務局としてもっと一般市民への周知を徹底していただければと思います。よろしくお願いいたします。

○ いつも見るわけではないが興味のある議題の時に即座に内容を知る事が出来るのが良い。後で議事録や市議会だよりを見るのとは違い、タイムラグがないし、どういう雰囲気の話が進んでいるのかがよく分かる。後で録画を見る事ができるので、時間ができた時に見られるのもとても良いです。リアルタイムでは試聴人数は少ないかもしれないが記録としてはかなり重要。是非継続をお願いします。

○ 現在のユーストリーム中継がどの程度利用されているのかは存じませんが、以前のように「見に行かなければ何が話されているのかわからない」という状況からは、大きく進歩したと思います。小金井市議会が、こうした施策を通じて市民に開かれた存在で「あり続けること」が重要なのではないのでしょうか。引き続きがんばって下さい。よろしくお願いいたします。

○ カメラの位置ですが、傍聴席から、もしくはその方向から（つまり議員や答弁者に向けて）撮影するのがいいと思います。傍聴人が映らなくて済みまずし、様子がよく分かります。そして、休憩中も音声も映像も切らないでほしいです。傍聴していればわかることなので、公開されないことではないと思いますし。市民に開かれた議会こそ、市民の本当の意味での支持が得られるのですし、それが担保されないと、市民は本当にクレーマー集団になってしまいます。もちろん市民に開かれた行政も同じです。行政も議会も、どちらを向いているのか、本当に市民の方を向いているのか、ということが、この中継自体に現れていると思うのです。中継の続行、カメラの位置、休憩中も流し続けること、この3点はぜひぜひ、お願いします。

○ 過去のものも、後から遡って見られるのが、大変ありがたいです。カメラの位置を逆にしてもらいたいです。部局のどなたが発言しているかわからないので。

○ 時折、音声が聴こえないときがあります。現在のシステムで改善を図られるか、あるいは多少費用を要しても、安定した映像と音声配信できるシステムに変更してください。市議会の議事録が公表されるまでかなりの時間がかかっている現状を考えると、インターネットによる市議会中継・配信は、市民の市政参加にとって重要な役割を果たしていると考えます。ぜひご検討ください。

○ 議会をひらかれたものにするために、ぜひ継続すべきだと考えます。

○ 平日に仕事を持つ市民にとって議会の傍聴は難しいものがあります。この配信のおかげで、気になる案件についてはオンタイムあるいは後刻視聴できるので、大変助かります。また、議事録だけでは分からない、意見を述べられている時の語調が分かるのもよいと思います。視聴率はあまり高くないのかもしれませんが、とにかくこの手段により市民と議会の通路が確保されていることは小金井市民として誇りに思います。

○ なかなか議場までは足が運べない中、インターネット中継及び録画で議会を見る事が出来るのはとても便利で、何度か視聴しました。ユーストリームによるインターネット配信はとても素晴らしい試みだと思いますので、今後もぜひ続けていってほしいです。ただ、議会中音声を切ったりする事がありますが、休憩の間の話し合いなども聴きたいので、音声はつけたままでお願いしたいです。

○ 昼間市議会を聴きに行けなくても、あとから録画をみるなどできてありがたいと思います。市民が市政のことを知り、市民として勉強するうえで、基本的な状況を与えてもらったように思いました。また、市議会の皆さんが遅くまで頑張っておられる様子や議論のされ方が分かって興味深いものです。更に希望を言えば、録画に案件名や質疑者名など、簡単な見出しがあるといいと思います。

○ 配信にはコストもかかるとは思いますが、市民にとっては議会に接する機会を増やしてもらえる事はありがたいです。

○ USTREAM 中継は議事録と同様に重要な市政情報の公開の一つです。見る人が少ないから議事録を出さないということはないはずです。現状で USTREAM をやっているということは「サービス」であるということは理解していますが、見る人が少ないということは USTREAM 中継をやらないという理由にはならないはずです。また、USTREAM 中継にはアーカイブが残ります。ライブで見られない人でも必要なときに見ることができるということは、大変重要です。常に外から見られているという緊張感が議場に生まれます。市民に分かりやすい市政、説明できる市政のために USTREAM による緊張感を議場に継続させることが重要です。視聴率が上がらないから止めるという発想から、視聴率を上げるためにはどうしたらいいかというポジティブな発想に転換してはどうでしょうか。小金井市議会は他市に例の少ない取組を行っているという気概を持って欲しいと思います。

要望

全ての音声の公開

マイクがオンになっているときだけでなく、常に議場の声を拾う。休憩も含め、傍聴していれば手に入る情報は全て公開して欲しい。

技術的な課題

音が悪い。そもそものラインのシステムの音質が悪いのかもしれないが、音質が悪いことが多々ある。また、送信のビットレートをもう少し上げられないものか。待ち受け画面の問題。字体がポップすぎる。落ち着いたものに。

今後の施策

Twitter アカウントを開設し、現在のアカウントのソーシャルストリームを開放して欲しい。ここに Twitter で情報を流すことで視聴者が

予定を立てやすくなる。休憩がいつ終わるかなどの情報が欲しい。公民館にテレビを置き、中継を流す。これにより、インターネットで視聴できない層にも訴求できる。アーカイブインデックスの作成。少し手間は掛かるが過去の議会のインデックスを作り、リンクを張ることで視聴者が見やすくなり、視聴率が上がる。

○ 開かれた議会として是非続けてください。

○ 部局の誰が発言しているかわかるように、カメラの位置を傍聴席側から撮るようにしてほしい。

○ こうした形でも、公開されていることに意義がある。関係者が公開されていることを意識しながら仕事をすることは大切なこと。せっかくこういう安価でもよい仕組みが出てきたのだから、時代の流れを考えると、止めるとか縮小する選択肢はあり得ないと思う。また、市外に対しても、こういうオープンな方向性が、小金井市のイメージアップに貢献すると思う。

○ いつでもどこでも誰でも見ることができるインターネット配信は経費もかからず大変素晴らしいものです。もちろん傍聴に行くにこしたことはないのですが、なかなか時間の制約もあり議場まで足を運ぶのは難しいものです。ネット配信があれば、見たい部分だけ聞きたい部分だけをライブで見ることができ、アーカイブでいつでも見ることができます。ネット配信は議会と市民を結ぶ革命的な方法だと思います。もちろん十分なネット環境を持つ市民はまだ少ないかもしれませんが、あと数年で一気に整備されてくるものと思います。市民に広くつながり受け入れられていく議会を作るためにもネット配信は必須です。市民のための議会を目指すならばこのままネット配信を続けることを強く希望します。私自身は他市のものですが、ネットで見られることは大変勉強になります。自分の住むまちには、まだライブ配信をしていないので本当にうらやましい限りです。ぜひぜひ先進的な議会としてこのまま多摩地区をリードして行ってほしいです。どうぞよろしく願いいたします。

○ 市外在住ですが拝見させていただいていました。配信がある事はとても大事な事だと思います。ぜひ継続していただきますようお願い致します。

○ インターネット配信で映像と音声でリアルタイムで視聴できることにより、市議会の議場に足を運ぶ余裕のない市民でも、市議会の運営状況にアクセスすることが容易になったのは間違いありません。

実際、市内在住の方から、「画面は見られないときでも、家事をしながらラジオのように音声を聞いていることで、議会の様子が分かるようになった。自分たちが投票した議員がどんなふうに議論をしているのか関心を持ち続けたいと思うが、傍聴までは行けないことも多いのでたいへん便利だ」という意見を聞きました。

私自身も平日は市外に通勤しているため通常の議会の傍聴に行けることは無いので、関心のあるテーマがどのように議論されたか、その議論の内容や雰囲気を知るために、UST 中継のアーカイブ映像を確認することができるのはたいへん役立ちます。

また、個々の市議の中には、UST のアーカイブ映像の何分何秒の場面において自分が発言した、と紹介することで、議会活動のレポートに役立てている方もいます。そうした個別の議会活動でなくとも、議員の方々にとって、自分たちがいかにしっかりと議員活動を行っているかを常に市民に対して明らかに示せるということは、大きなメリットであることは否定されることはないと思われま

す。以上のような例から、市民にとっても、市議にとっても、UST 中継が存在することは、メリットこそあれ、デメリットは今のところ思いつきません。ぜひ今後も継続していただきたいと思います。

付言すれば、今回の試みは、一部の市民有志による中継をきっかけとして、行政がそれを継承したという経緯から見て、市民の求める施策が迅速に反映された好例であり、その意味でも試行段階にとどまらず、正式の制度として定着させていただきたいと思

います。継続に当たっては、いくつか要望があります。

一つは音声の安定で、視聴していると時々音声の状態が悪く、エコーがかかったり、雑音が入ったりすることがあります。その点は、技術的に改善できることであればぜひ改善していただきたいと思

います。もう一つは映像のアーカイブ化にあたって、発言者ごとの区切りを入れるなど、もう少し視聴に便利な処理を施していただきたいということです。これについては作業の負担が発生することと思いますが、議事進行中のタイムキーピングや、事後の議事録作成の作業と関連づけるなど、何か工夫していただければと思

います。○ インターネット配信は、審議の内容を文字起こししたものがメーリングリストに流されたり、ブログに掲載されるなど、単純なView数だけでは測りきれない形で活用されています。議会改革の一環として、インターネット配信はもう後戻りを許されないもの。市役所ロビーでも常時放映するなど、これからますますの活用を期待しております。

- 子どもが小さくて静かにしていただけないので傍聴が難しい。庁舎にエレベーターがないので、ベビーカーやお年寄りが階段を上がるのは大変です。視聴数が多い少ないに関わらず、必要としている人がいる間は続けて下さい。
- 平日気になることが審議されているとき、就業しているので、後で見ることができ大変良かった。絶対になくさないでほしい。
- ユーストリームのおかげで、市議会での様子がとても分かりやすくなりましたし、また各議員の皆さんのお考えや姿勢を理解することができました。
- 是非、継続実施をお願いいたします。
- 興味のある内容は、中継を見ています。是非、続けるべきです。
- ただ配信するだけでなく、視聴者に見やすく聴きやすくする配慮を。発言者の氏名が分かるようにテロップ等を。関連資料のダウンロード配信。手話あるいは文字配信なども可能であれば。
- 音声聞き取りづらいことが多いので、どの方の発言も聞き取りやすくなるようお願いしたい。
- わざわざ改めて、廃止を検討する意味が分かりません。
- もっとPRしてください。
- 常時音声が入るようにしてもらいたい。都合悪くなったとき、マイク音を切られてるみたいなのはやめてほしい。音も発言者だけというより、全体として拾ってほしい。

○ 音声や映像は人がいる間はずっと流し続けてください。傍聴に何度か行ったことがあります、子どもが小さいためふだんはなかなか足を運べません。ですので、ノーカットの中継は実際の議場にいることに近づくので実現していただきたいです。他市の方から、小金井市は先進的だとほめられました。議会のU S T中継があると知ってのことです。とても驚いていました。他の自治体のお手本になるよう、今後も、いろいろ工夫して中継に取り組んでいただきたいと思います。

- 1 聴覚障害の方への配慮。テロップ。手話
- 2 視覚障害の方への配慮。音質の向上。
- 3 全体に視聴者への配慮。途中から参加でも、すぐ何について分かるよう、ときどきテロップを流すなど。発言者の名をテロップで。

今後の中継の更なる発展に期待しています。